

# 【X300用IRST設定】 マニュアル

2012.08.02

※本マニュアルには、システムやBIOSを操作し、設定する項目がございます。

この操作、設定におきましては、パソコンの知識をお持ちのお客様において、お客様の自己責任で行っていただきますようお願いいたします。設定操作における、故障、または起動しない等の症状が発生した場合には、保証対象外になることがあります。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

操作、設定に、ご不安のあるお客様は、ご購入いただきました販売店へご相談ください。

## Intel® Rapid Start Technology (IRST)

『インテル®ラピッド・スタート・テクノロジー』とは、休止状態（ハイバネーション）からのシステム復帰を高速化、また、バッテリー維持時間を向上させる機能です。

通常の休止状態では、休止前の作業情報をHDDへコピーしますが、IRSTを設定することでSSDへコピーするため、高速化が実現されます。そのため、SSDにメモリと同じ容量を設定する必要があります。

確認、設定操作は、大きく分けて3項目あります。

- BIOSの項目確認（項目が違う場合には、設定が必要になります）
- I R S T用ドライバの確認  
（ドライバがインストールされていない場合には、インストールが必要になります）
- フラッシュメモリドライブ（SSD）の確認  
（SSDがフォーマットされた場合には、領域確保、設定が必要になります）

※ハード（環境）の状態により、設定操作の順番が入れ替わる場合がありますのでご注意ください。

各設定の確認を行う場合には、上から『BIOS 確認、ドライバ確認、SSD 領域確認』と順番に行えますが、SSDがフォーマットされた状態の場合には、『SSD 領域確保 / 設定、BIOS 確認 / 設定、ドライバ確認 / 設定』の順番に操作していただく必要があります。ご注意ください。

まずは、下記『注意事項』を確認してください。

次に、マニュアルを参照し、操作をおこなってください。

## 注 意 事 項

- ・バッテリー駆動での操作はおやめください。  
必ず専用のACアダプタを使用して、AC電源駆動で操作してください。
- ・操作は途中で中止しないでください。（起動しなくなる可能性があります）
- ・OS（Windows 7）の再インストール（リカバリ）、ドライバのインストールを完了してから、操作してください。
- ・手順を必ずお守りください。

## ■ BIOS 項目確認

1. 本体に AC アダプタが接続されていることを確認してください。また、AC アダプタの電源コードがコンセントに接続されていることを確認してください。

2. 本体の【電源ボタン】を押して、ノートパソコンを起動させてください。

3. 起動直後に【F 2】ボタンを押してください。

⚠ 『OS が起動した場合には、OS を通常終了し、〔2.〕からやり直してください。』

4. BIOS の『Main 画面』が表示されます。

5. キーボードの【→】キーを押して、タブを【Advanced】へ移動させてください。

⚠ 『【→】【←】キーはどちらも移動します。また、タブはループします。』

⚠ 『選択されたタブは、背景色が反転します。』

6. キーボードの【↓】キーを押して、項目を【Intel(R) Rapid Start Technology】へ移動してください。

⚠ 『【↓】【↑】キーはどちらも移動します。また、項目はループします。』

⚠ 『選択された項目は、文字の色が白色になります。』

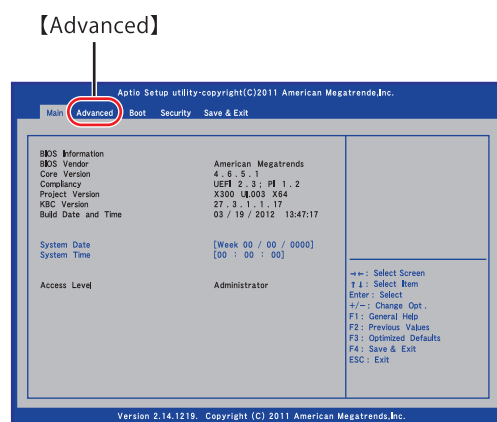
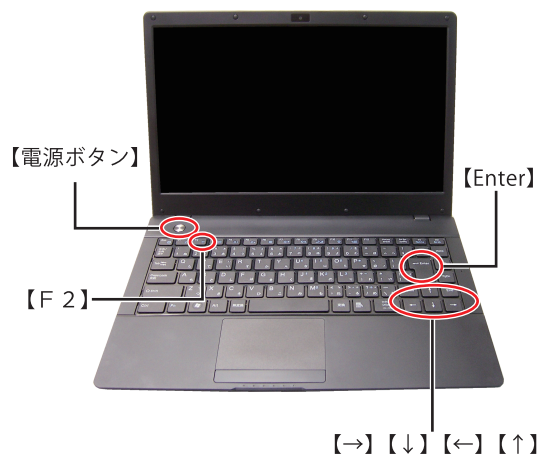
7. 【Enter】キーを押して、『IRST 設定画面』を表示してください。

⚠ 『画面を戻す場合には【ESC】キーを押してください。』

8. 以下の項目の設定を確認してください。

【項目】	【設定】
【Intel(R) Rapid Start Technology】	→ [Enabled]
【Entry After】	→ [10minutes]

⚠ 『設定が違う場合には、次ページを参照し、設定してください。』



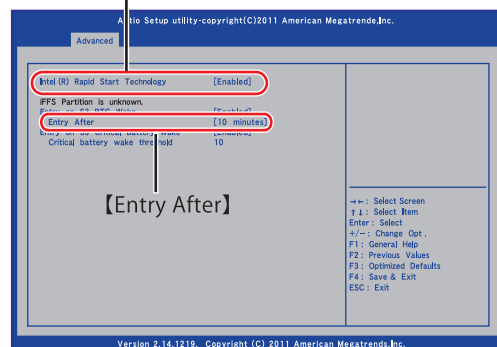
【Main】画面

【Intel(R) Rapid Start Technology】



【Advanced】画面

【Intel(R) Rapid Start Technology】



【IRST 設定】画面

## 〈設定変更操作〉

8-a. 設定が違う場合には、キーボードの【↓】キーを押して変更する項目に移動してください。

⚠ 『【↓】【↑】キーはどちらも移動します。また、項目はループします。』

⚠ 『選択された項目は、文字の色が白色になります。』

8-b. 変更する項目で、【Enter】キーを押すと【設定選択画面】が表示されます。

8-c. 【設定選択画面】より〔8.〕で確認した設定に、キーボードの【↓】キーで移動させて、【Enter】キーを押して決定してください。

⚠ 『【↓】【↑】キーはどちらも移動します。また、項目はループします。』

⚠ 『選択された値は、背景色が黒色になります。』

⚠ 項目および設定値

【Intel(R) Rapid Start Technology】 → [Enabled]  
【Entry After】 → [10minutes]

9. 確認後、【ESC】キーを押して、『Advanced 画面』を表示してください。

10. キーボードの【→】キーを押して、タブを【Save & Exit】へ移動させてください。

⚠ 『【→】【←】キーはどちらも移動します。また、タブはループします。』

⚠ 『選択されたタブは、背景色が反転します。』

11. 項目が【Save Changes and Reset】を選択していることを確認してください。

⚠ 『選択された項目は、文字の色が白色になります。』

12. 【Enter】キーを押すと、【確認画面】が表示されます。

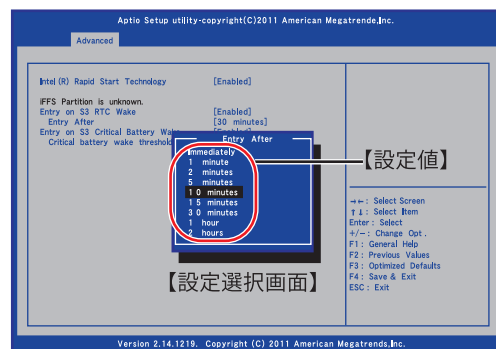
13. 【Yes】を選択し、【Enter】キーを押してください。  
BIOSが終了し、パソコンが再起動します。

⚠ 『選択されると、背景色が黒色になります。』

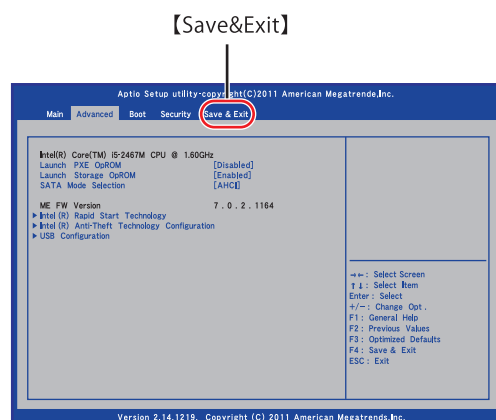
以上で『BIOS 項目確認』を終了します。

## ⚠ 注意事項

・BIOSは機器（ハード）を制御するプログラムになります。設定によっては、パソコンが動かなくなる可能性がありますので、むやみに設定の変更をおこなわないように注意してください。

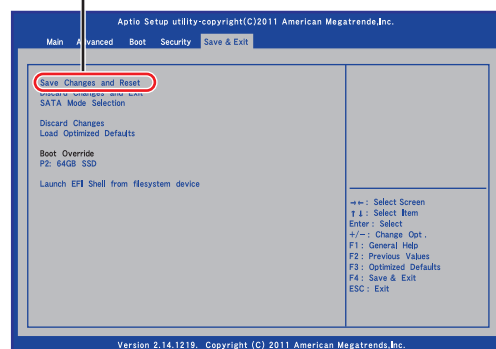


【IRST 設定】画面

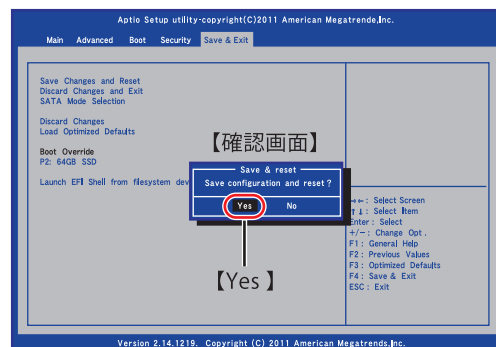


【Advanced】画面

## 【Save Changes and Reset】



【Save&Exit】画面



【Save&Exit】画面

# ■ I R S T ドライバの確認

1. OS 起動後、画面左下の【スタート】ボタンを左クリックしてください。『スタートアップメニュー』が表示されます。

2. 『スタートアップメニュー』より【コントロールパネル】を左クリックしてください。『コントロールパネル』画面が表示されます。

3. 『コントロールパネル』画面より、【プログラム - プログラムのアンインストール】を左クリックしてください。『プログラムのアンインストールまたは変更』画面が表示されます。

4. 『現在インストールされているプログラム』で、名称が【Intel(R) Rapid Start Technology】と表記されているプログラムがあることを確認してください。

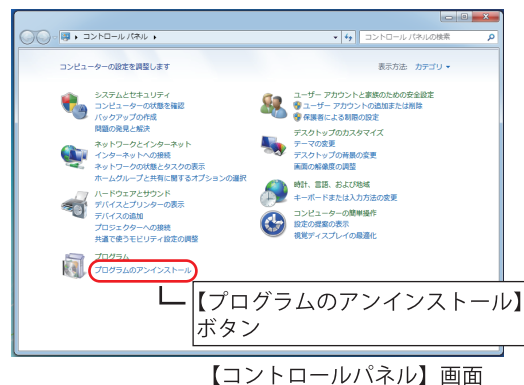
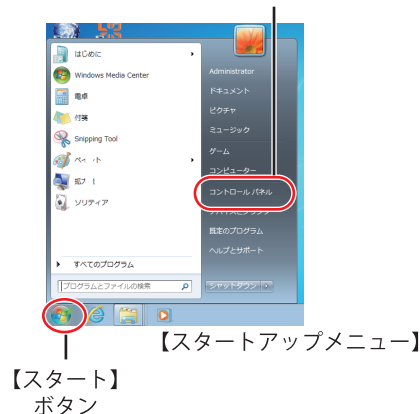
⚠ 『画面が上下にスクロールします。下部まで確認してください。』

⚠ 『プログラムが表記されていない場合には、添付のドライバDVDを使用して、IRST 用ドライバをインストールしてください。  
IRST 用ドライバの Device 名は【Iffs】になります。』

5. 確認後、『プログラムのアンインストールまたは変更』画面の右上に表示されている(X)ボタンを左クリックして終了してください。

以上で『IRST ドライバの確認』を終了します。

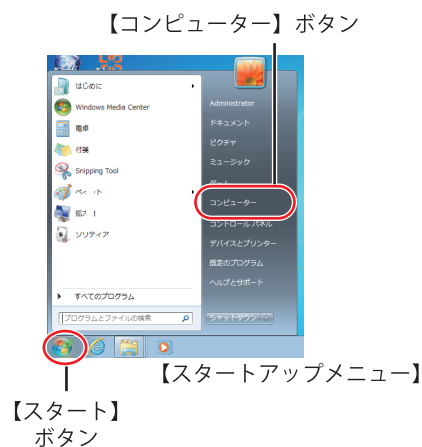
【コントロールパネル】  
ボタン



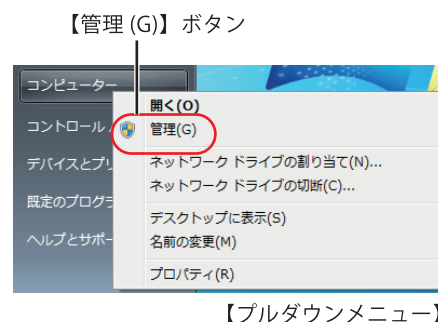
# ■ フラッシュメモリドライブの領域確認

1. 画面左下の【スタート】ボタンを左クリックしてください。  
『スタートアップメニュー』が表示されます。

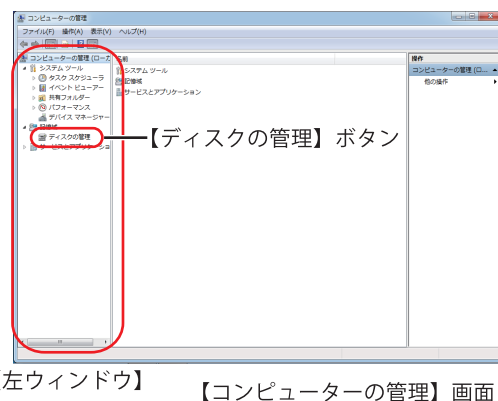
2. 『スタートアップメニュー』より【コンピューター】を  
右クリックしてください。『プルダウンメニュー』が表示  
されます。



3. 『プルダウンメニュー』より【管理 (G)】を左クリックしてください。  
『コンピューターの管理』画面が表示されます。



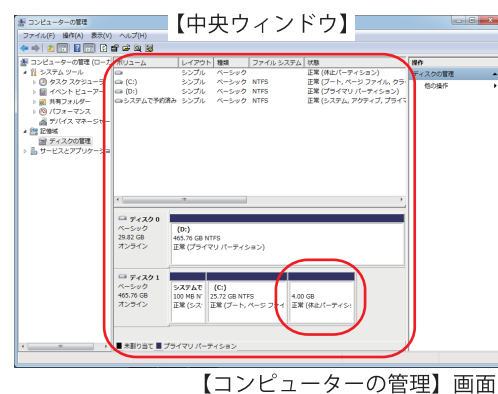
4. 『コンピューターの管理』画面の『左ウィンドウ』に表示されて  
いる、【ディスクの管理】ボタンを左クリックしてください。  
『中央ウィンドウ』に、現在のディスクについての情報が表示  
されます。



5. 『ディスク 1』がフラッシュメモリドライブ（以下 SSD と表記）  
の領域となり、『ディスク 0』がハードディスクの領域となります。  
SSDの領域に搭載メモリと同量の領域が確保されていること  
を確認してください。

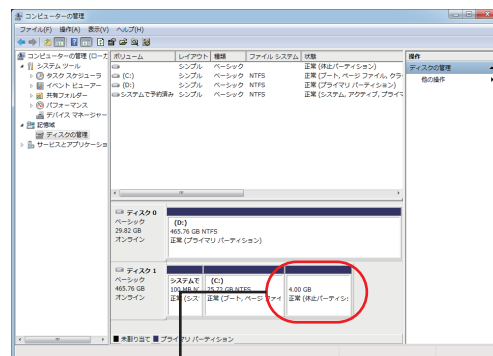
⚠ 『ディスク 0』がハードディスクの領域、『ディスク 1』が SSD の領域として  
表示される場合があります。管理表示の都合になりますので、操作等には影響  
しません。その場合には必ず容量を確認の上、SSD の領域を選択してください。  
ハードディスクの容量よりも SSD の容量のほうが小さいです。』

⚠ 『領域が確保されていない場合には、設定する必要があります。フラッシュメモリ  
ドライブの領域確保を参照してください。』

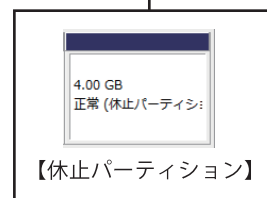


6. 確保した領域の状態が、『正常（休止パーティション）』になっていることを確認してください。

⚠ 『領域の状態が、他の状態の場合には、設定する必要があります。不要な領域を削除し、フラッシュメモリドライブの領域確保、フラッシュメモリドライブの設定を参照してください。』



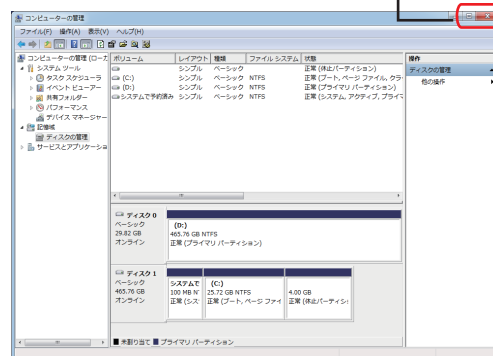
【コンピューターの管理】画面



【休止パーティション】

7. 『コンピューターの管理』画面の右上に表示されている (X) ボタンを左クリックして終了してください。

(X) ボタン



【コンピューターの管理】画面

以上で『フラッシュメモリドライブの領域確認』を終了します。

※フラッシュメモリドライブの領域が確保されていない、または、設定が違う場合には、次ページよりある『フラッシュメモリドライブの領域確保』『フラッシュメモリドライブの領域設定』を参照し、設定を行ってください。

尚、SSDをフォーマットした場合には、SSDの領域確保、設定をおこなう必要があります。

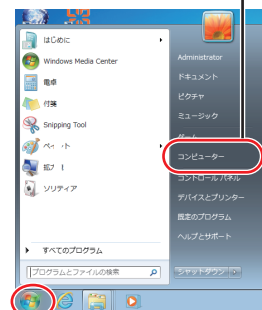
また、SSDの領域確保、設定後に、BIOSの確認 / 設定、ドライバの確認 / 設定をおこなってください。

# ■ フラッシュメモリドライブの領域確保

1. 画面左下の【スタート】ボタンを左クリックしてください。  
『スタートアップメニュー』が表示されます。

2. 『スタートアップメニュー』より【コンピューター】を  
右クリックしてください。『プルダウンメニュー』が表示  
されます。

【コンピューター】ボタン

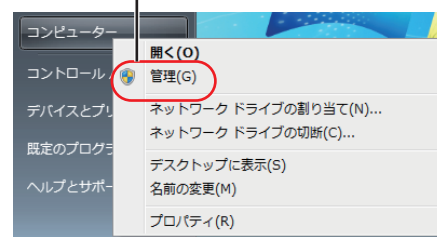


【スタートアップメニュー】

【スタート】  
ボタン

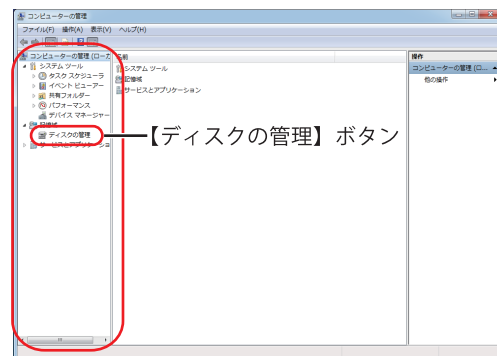
3. 『プルダウンメニュー』より【管理 (G)】を左クリックしてください。  
『コンピューターの管理』画面が表示されます。

【管理 (G)】ボタン



【プルダウンメニュー】

4. 『コンピューターの管理』画面の『左ウィンドウ』に表示されて  
いる、【ディスクの管理】ボタンを左クリックしてください。  
『中央ウィンドウ』に、現在のディスクについての情報が表示  
されます。



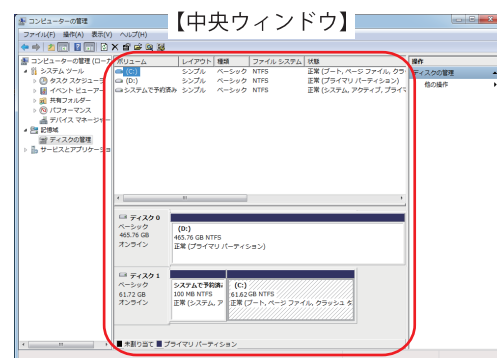
【左ウィンドウ】

【コンピューターの管理】画面

5. 『ディスク 1』がフラッシュメモリドライブ（以下 SSD と表記）  
の領域となり、『ディスク 0』がハードディスクの領域となります。  
IRSTでは、SSDの領域に搭載メモリと同量の領域を確保  
する必要があります。

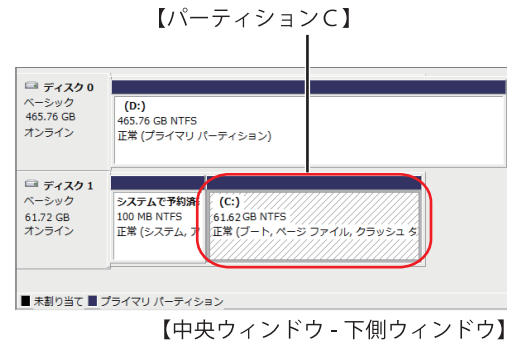


『ディスク 0』がハードディスクの領域、『ディスク 1』が SSD の領域として  
表示される場合があります。管理表示の都合になりますので、操作等には影響  
しません。その場合には必ず容量を確認の上、SSD の領域を選択してください。  
ハードディスクの容量よりも SSD の容量のほうが小さいです。』



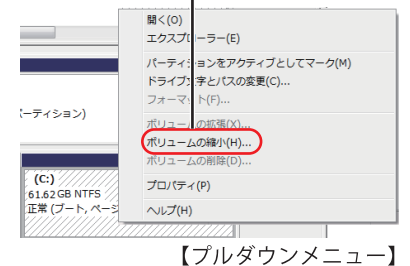
【コンピューターの管理】画面

6. 中央ウィンドウの下側ウィンドウに表示されている『パーティションC』にマウスのポインタを移動し、右クリックしてください。『プルダウンメニュー』が表示されます。



7. 『プルダウンメニュー』より【ボリュームの縮小(H)...】を左クリックしてください。『C: の縮小』画面が表示されます。

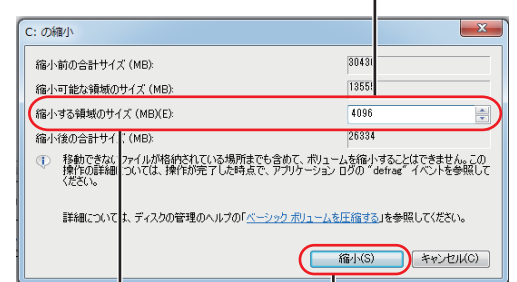
【ボリュームの縮小(H)...】ボタン



8. 『C: の縮小』画面の『縮小する領域のサイズ』に【4096】と数字を入力し、【縮小(S)】ボタンを左クリックしてください。領域が作成されます。

【4096】と入力

⚠ 『縮小する領域のサイズ』は、搭載メモリの容量と同じです。』



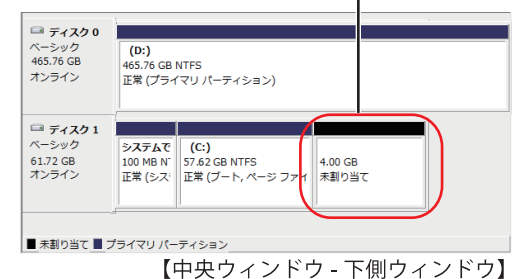
【縮小する領域のサイズ】項目

【縮小(S)】ボタン

9. 中央ウィンドウの下側ウィンドウに【『未割り当て』の領域 (4.00 GB)】が表示されていることを確認してください。

⚠ 『サイズが違う場合には、対象パーティションを右クリックし、プルダウンメニューの【ボリュームの削除(D)...】を選択し、作成した領域を削除してください。』

【未割り当て】領域



以上で『フラッシュメモリドライブの領域確保』を終了します。



## ■ フラッシュメモリドライブの領域設定

1. 画面左下の【スタート】ボタンを左クリックしてください。  
『スタートアップメニュー』が表示されます。

2. 『スタートアップメニュー』の『プログラムファイルの検索』に【cmd】と入力してください。『検索結果』に【cmd プログラム】が表示されます。

⚠ 『【】カギかっちは入力せずに、アルファベットのみ入力してください。  
アルファベットは小文字、大文字どちらでも使用可能です。』

3. 【cmd プログラム】を左クリックしてください。『コマンドプロンプト』画面が表示されます。

4. 『コマンドプロンプト』画面にコマンドを入力します。  
『C:¥ Users ¥ Administrator>』と表示されていますので、  
【diskpart.exe】と入力して、【Enter】キーを押してください。  
プログラムが実行されます。

⚠ 『『.』ドットマークを忘れないように注意してください。』

5. 『DISKPART>』と表示されますので、  
【list△disk】と入力して、【Enter】キーを押してください。  
L i s tが表示されます。

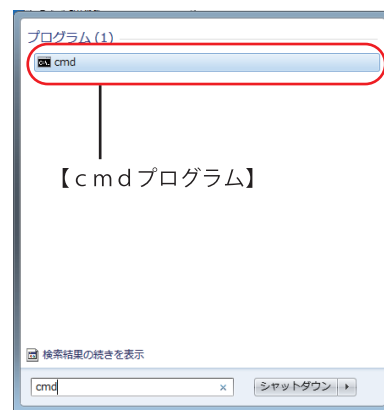
⚠ 『『△』マークはスペースを表します。必ずスペースを入れてください。  
スペースが入っていなかったり、多い場合には違うコマンドと認識され  
プログラムが正しく実行されません。正しく実行されなかった場合には、  
再度同じコマンドを正しく入力してください。』

【プログラムファイルの検索】  
→【cmd】と入力

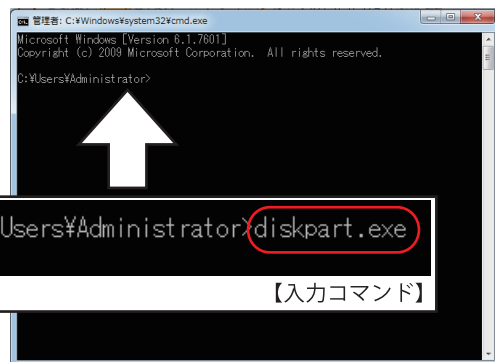


【スタートアップメニュー】

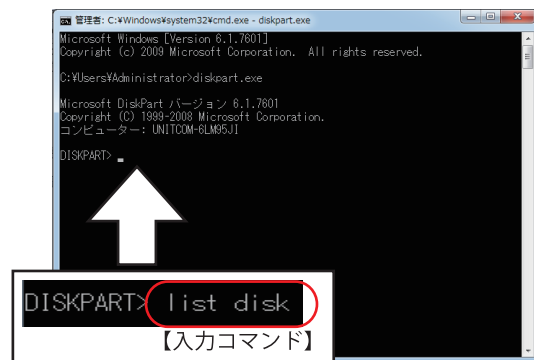
【スタート】  
ボタン



【検索結果】画面



【コマンドプロンプト】画面

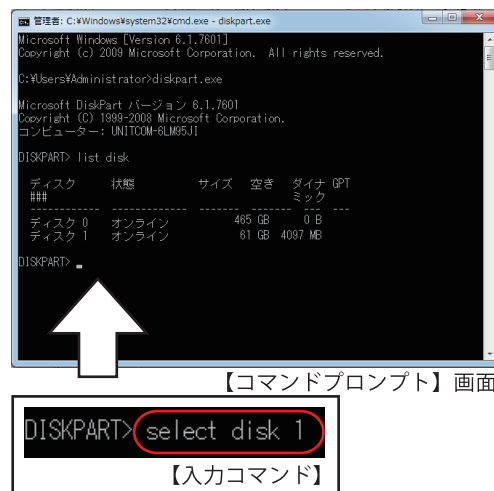


【コマンドプロンプト】画面

6. 『DISKPART>』と表示されますので、  
**【select△disk△1】**と入力して、**【Enter】**キーを押してください。  
 ディスク1が選択されます。

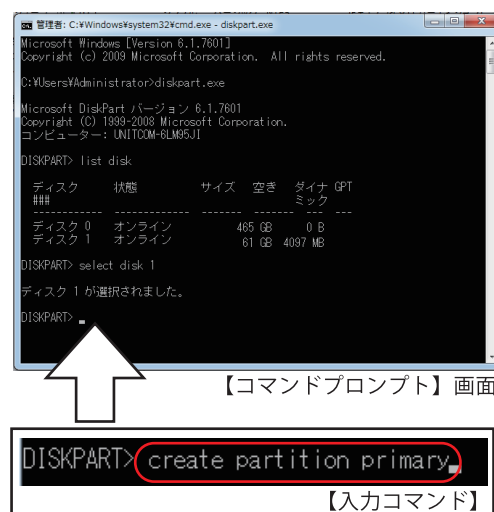
⚠ 『『ダイナミック』項目に約4,000MBの容量が表示されたディスクを選択してください。右図の場合ディスク1が対象になります。』

⚠ 『『△』マークはスペースを表します。必ずスペースを入れてください。スペースが入っていなかったり、多い場合には違うコマンドと認識されプログラムが正しく実行されません。正しく実行されなかった場合には、再度同じコマンドを正しく入力してください。』



7. 『DISKPART>』と表示されますので、  
**【create△partition△primary】**と入力して、**【Enter】**キーを押してください。  
 指定したパーティションを作成します。

⚠ 『『△』マークはスペースを表します。必ずスペースを入れてください。スペースが入っていなかったり、多い場合には違うコマンドと認識されプログラムが正しく実行されません。正しく実行されなかった場合には、再度同じコマンドを正しく入力してください。』



8. 『DISKPART>』と表示されますので、  
**【detail△disk】**と入力して、**【Enter】**キーを押してください。  
 ディスクの詳細を表示します。

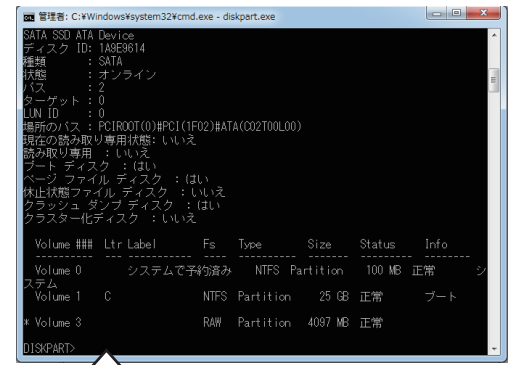


9. 『DISKPART>』と表示されますので、

【select△volume△3】と入力して、【Enter】キーを押してください。  
ボリューム3が選択されます。

⚠ 『Size』項目に約4,000MBの容量が表示されたボリュームを選択してください。  
右図の場合 Volume3 が対象になります。』

⚠ 『△』マークはスペースを表します。必ずスペースを入れてください。  
スペースが入っていなかったり、多い場合には違うコマンドと認識され  
プログラムが正しく実行されません。正しく実行されなかった場合には、  
再度同じコマンドを正しく入力してください。』



```
SATA SSD ATA Device
ディスク ID: 1A9E3614
種類      : SATA
状態      : オンライン
バス      : 2
ターゲット: 0
LUN ID    : 0
場所のバス: PCIROOT(0)#PCI(1F02)#ATA(C02T00L00)
現在の読み取り専用状態: いいえ
読み取り専用: いいえ
ブートディスク: はい
ページファイルディスク: はい
休止状態ファイルディスク: いいえ
クラッシュ ダンプディスク: はい
クラスター化ディスク: いいえ

Volume ##  Ltr Label  Fs  Type  Size  Status  Info
-----
Volume 0   システムで予約済み  NTFS Partition  100 MB  正常
システム
Volume 1   C               NTFS Partition  25 GB   正常  ブート
* Volume 3               RAW  Partition  4097 MB  正常
```

【コマンドプロンプト】画面



```
DISKPART> select volume 3
```

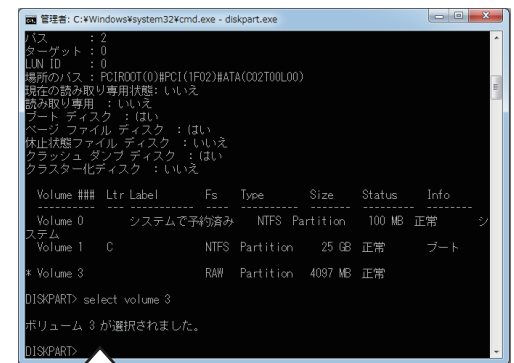
【入力コマンド】

10. 『DISKPART>』と表示されますので、

【set△id=84△override】と入力して、【Enter】キーを押してください。

パーティションIDを設定します。

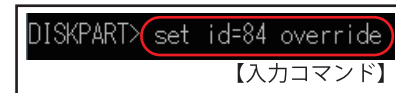
⚠ 『△』マークはスペースを表します。必ずスペースを入れてください。  
スペースが入っていなかったり、多い場合には違うコマンドと認識され  
プログラムが正しく実行されません。正しく実行されなかった場合には、  
再度同じコマンドを正しく入力してください。』



```
Volume ##  Ltr Label  Fs  Type  Size  Status  Info
-----
Volume 0   システムで予約済み  NTFS Partition  100 MB  正常
システム
Volume 1   C               NTFS Partition  25 GB   正常  ブート
* Volume 3               RAW  Partition  4097 MB  正常

DISKPART> select volume 3
ボリューム 3 が選択されました。
DISKPART>
DISKPART> set id=84 override
```

【コマンドプロンプト】画面



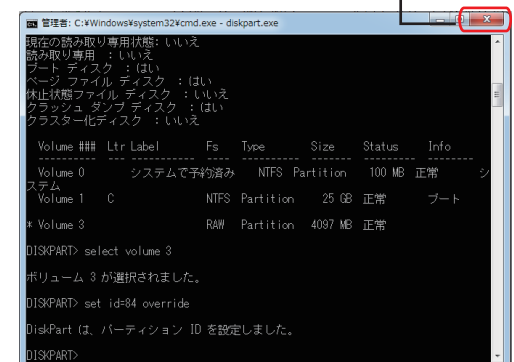
```
DISKPART> set id=84 override
```

【入力コマンド】

(X) ボタン

11. 以上で【cmdプログラム】を使用した設定終了です。

『コマンドプロンプト』画面の右上に表示されている  
(X)ボタンを左クリックして終了してください。



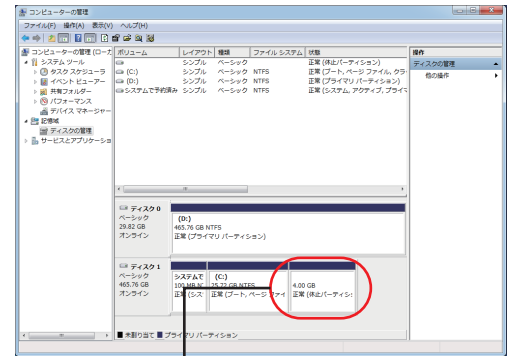
```
Volume ##  Ltr Label  Fs  Type  Size  Status  Info
-----
Volume 0   システムで予約済み  NTFS Partition  100 MB  正常
システム
Volume 1   C               NTFS Partition  25 GB   正常  ブート
* Volume 3               RAW  Partition  4097 MB  正常

DISKPART> select volume 3
ボリューム 3 が選択されました。
DISKPART> set id=84 override
DiskPart は、パーティション ID を設定しました。
DISKPART>
```

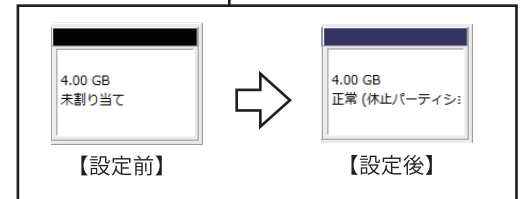
【コマンドプロンプト】画面

1 2. 『コンピューターの管理』画面で、『3-1.』で確保した領域が、【未割り当て】から、【休止パーティション】に変わっていることを確認してください。

 『領域が、【未割り当て】の場合には、再度設定をし直してください。』

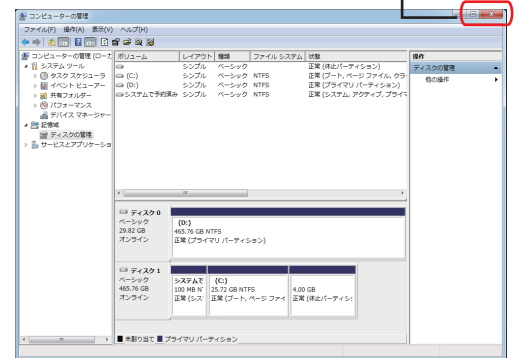


【コンピューターの管理】画面



1 3. 『コンピューターの管理』画面の右上に表示されている (X) ボタンを左クリックして終了してください。

(X) ボタン



【コンピューターの管理】画面

以上で『フラッシュメモリドライブの領域設定』を終了します。

最後に、ノートパソコンを通常の方法で再起動してください。  
 以上で【IRST】における、すべての確認、設定が終了いたしました。

快適なパソコンライフをお楽しみください。